

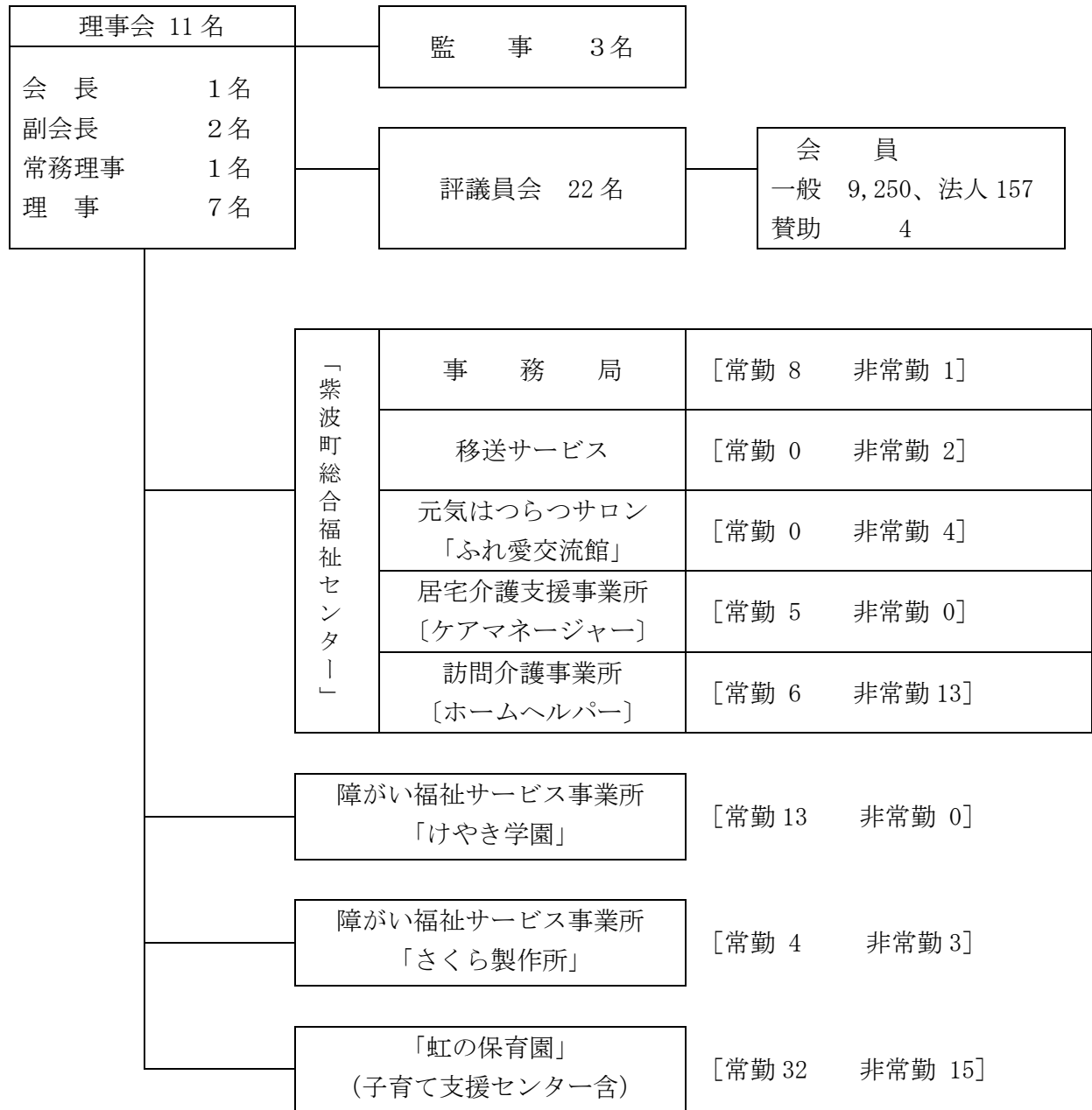
令和 7 年度

社会福祉法人紫波町社会福祉協議会 事業報告書

第 1 法人運営

1 組 織

令和 7 年度組織図（3 月末現在）



職員総数

常勤 68 非常勤 38 計 106 人

2 会 費

(1) 会 費

・個人会費 1,000 円 ・法人、賛助会員 3,000 円

(2) 実 績

・個人会費 9,250,300 円 ・法人会費 645,000 円 (157 法人)
 (前年度比 -3,200 円) (前年度比 -9,000 円 (-1 法人))
 ・賛助会費 75,000 円 (4 団体) ・合 計 9,970,300 円
 (前年度同額) (前年度比-12,200 円)

第2 福祉基金保有高等

前期末残高	当期取崩額	当期積立額	当期末残高
57,393,777 円	0 円	304,443 円 〔 寄付金 215,308 円 〕 〔 利息配当等 89,135 円 〕	57,698,220 円

福祉事業への寄付金 609,209 円

第3 会議・監査会の開催状況

1 理事会 理事定数 11 名、(監事 3 名)

	開催月日	出席者	議 題
第 1 回	5 月 23 日	9 (2)	・令和 6 年度事業報告、決算 ・令和 7 年度補正予算(第 1 号) ・評議員候補者の推薦 ・評議員選任・解任委員会の招集 ・役員候補者の推薦 ・評議員選任・解任委員の選任 ・定時評議員会の招集
第 2 回	6 月 9 日	10 (1)	・役員候補者の選任 ・評議員選任・解任委員会の解任及び選任
第 3 回	8 月 22 日	12 (1)	・役員候補者の選任 ・規則、規定一部改正
第 4 回	12 月 22 日	12 (2)	・歳末たすけあい義援金の配分
第 5 回	3 月 12 日	11 (2)	・諸規則一部改正 ・諸規程一部改正 ・相談支援事業所けやき運営規程 ・人件費積立金の取崩し ・令和 7 年度補正予算 (第 2 号) ・役員等賠償責任保険の契約 ・令和 8 年度事業計画、予算 ・役員候補の推薦の承認 ・評議員会の招集

2 評議員会 定数 22 名、(監事 3 名)

	開催月日	出席者	議 題
第 1 回 定時評 議員会	6 月 9 日	18 (1)	・ 令和 6 年度事業報告、決算 ・ 令和 7 年度補正予算(第 1 号) ・ 役員の選任
第 2 回	3 月 19 日	18	・ 規定改正 ・ 人件費積立金の取崩し ・ 令和 7 年度補正予算 (第 2 号) ・ 令和 8 年度事業計画、予算 ・ 役員の選任

3 評議員選任・解任委員会

	開催月日	監 査 内 容
第 1 回	5 月 29 日	・ 評議員の選任

4 監査会

	開催月日	監 査 内 容
第 1 回	5 月 8 日	・ 令和 6 年度 1 月～3 月事業内容 ・ 令和 6 年度 1 月～3 月定例監査 ・ 令和 6 年度決算監査
第 2 回	7 月 22 日	・ 令和 7 年度 4 月～6 月事業内容 ・ 令和 7 年度 4 月～6 月定例監査
第 3 回	10 月 31 日	・ 令和 7 年度 7 月～9 月事業内容 ・ 令和 7 年度 7 月～9 月定例監査
第 4 回	1 月 29 日	・ 令和 7 年度 10 月～12 月事業内容 ・ 令和 7 年度 10 月～12 月定例監査

5 地域福祉団体との懇談会等

会議名	開催月日	出席者	内 容
町内社会福祉法人連 携ネットワーク推進協議会	4 月 28 日	19	・ 事業と決算の報告 ・ 共同実施連携事業と予算
たんぽぽ食堂・フード パントリー開催に向 けた打合せ	5 月 13 日 から 9 回	延 47	・ フードパントリー、こども食堂開催に向 けた工程、役割の確認 ・ 実施内容の打合せ

第 4 企画広報

1 広 報

(1) 社会福祉協議会広報紙「社協だより」の発刊

社会福祉協議会事業の紹介のほか、福祉情報を提供しました。

- ・発行回数 6回（全世帯と法人会員に配布）

（２） SNS の活用

社会福祉協議会の事業予定、報告その他福祉情報を多世代に向け、インターネットを活用し発信しました。

- | | | | |
|----------------------|------------|-----------|-------|
| ① Facebook（フェイスブック） | 令和３年６月から運用 | フォロワー数 | 251 名 |
| ② YouTube（ユーチューブ） | 令和４年５月から運用 | チャンネル登録者数 | 2 名 |
| | | 視聴回数 | 277 回 |
| ③ Instagram（インスタグラム） | 令和５年３月から運用 | フォロワー数 | 826 名 |
| | | 投稿数 | 159 件 |

（３） 「福祉声のおたより」の発行

朗読ボランティア「銀の鈴」の協力を得て、広報紙をＣＤに録音し、視覚障害者へ提供しました。

- ・録音項目 町広報、町議会報、社協広報他町内関連文書
- ・会 員 7 名
- ・利 用 者 9 名

２ 町内の社会福祉法人の連携による共同実施推進の取組 【継続事業、法人拠出】

（１） 買い物等支援事業

- ・日 時 令和 7 年 4 月～8 年 3 月 10：00～12：00 第一水曜日 12 回実施
- ・車 両 7 台（紫波会・志和大樹会・爽生会・新生会各 1 台、社協 3 台）
- ・利用状況 登録者 24 名 利用実績 延べ 254 名
利用者は町中央部から離れた地域の方が利用しています。
- ・実施内容 盛岡南ショッピングセンターで買い物（50 分程度）

（２） 就労準備支援ボランティア事業

実績無し

（３） 災害時における避難体制に向けた勉強会

- ・日 時 11 月 27 日（木） 13：00～15：10
- ・場 所 紫波町情報交流館 2 階大スタジオ ・参加者 57 名
- ・講 師 矢巾町防災安全室 室長補佐 立花真記氏
紫波町消防防災課 課長 工藤睦氏

３ たんぽぽ食堂及びフードパントリーの開催

ひとり親家庭等の子どもを対象に、地域の方々とともに安心感がある居場所を提供することで、地域全体で子どもたちを見守る・育てるきっかけになることを目指して開催しました。

- ・開催日等 4 月～3 月 12 回
- ・内 容 ひとり親等の子育て世帯、県主催の紫波町学習支援事業利用世帯へ食事や食材を提供
- ・参 加 者 延べ 201 世帯
- ・財 源 寄付金及び協力金 359,255 円
- ・協 力 者 民生児童委員、町母子寡婦福祉協会、町連合婦人会等
延べ 58 名

4 福祉用具の貸出

(1) 車椅子貸出（保有 17 台）

歩行困難者の日常生活支援のため、6 カ月を限度に車椅子を無料で貸し出しました。

・貸出延数 58 台

(2) 福祉教育用具貸出

学校の福祉教育推進、その他のため、福祉用具を無料で貸し出しました。

・貸出延数 点字器 2 回

車いすスロープ 1 回

シニア体験セット 1 回

第5 地域福祉活動の推進

（相談、困窮、資金）

1 無料相談事業「ふれあい相談所」

住民の抱えている課題解決に援助し、協力するため、無料相談所を開設しました。

・実施日 人権擁護委員毎月 1 回、弁護士毎月 1 回

・場 所 福祉センター団体室

・相談員 人権擁護委員 7 名、弁護士 1 名

・件数内訳

生 計	年 金	職業・生業	住 宅	家 族	結 婚
0	0	5	2	27	0
離 婚	健康・衛生	医 療	精神衛生	人権・法律	財 産
6	1	1	2	6	47
事 故	児童・母子保健	教育・青少年	心身障害者	母子・父子福祉	高齢者福祉
2	0	0	1	0	4
苦 情	地域福祉権利 擁護事業関連	その他			合 計
0	1	10			115

2 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）生活困窮相談支援事業【継続事業 町補助】

岩手県社会福祉協議会と連携し相談窓口対応を行い、継続的支援を要する場合には、本人の自立に向けた支援方針と達成目標等を示し、複合的な生活課題に対して町を含めた関係機関と連携し、個人や世帯への支援を行いました。

(1) 対応件数

延べ 289 件

(2) 主な相談内容

収入・生活費、仕事、食糧支援、住まい、家計管理、ライフライン、その他として身元保証、年金受給、学習支援、就学に関する相談対応を行いました。

(3) ふれあいカフェの実施

町民の困りごとや悩みごとの相談だけでなく、誰でも気軽に集まることができる居場所として『ふれあいカフェ』を開催しました。

- ・日 時 令和7年4月～令和8年3月 10:00～15:00 月1回 12回開催
- ・場 所 町総合福祉センター2階和室 ・参加者 延べ158名

(4) ふれあいミーティングの開催

個人や世帯に対し継続的に支援を行うため、本人の自立に向けた支援方針と達成目標等について、町を含めた関係機関と連携し情報共有を図りました。

- ・令和元年4月から 毎月1回開催 町総合福祉センター
- ・町、県社協、町社協（CSW、SC）、障害者基幹相談支援センター（矢巾町）、図書館司書、コミュニティーナース等

3 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）【継続事業 町委託 650千円】

町では、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域支援事業として、生活支援コーディネーターを配置し、資源開発、ネットワーク構築、ニーズと取組のマッチングを行い、地域で暮らす人を支援する人やサービスをつなぐ取組を行いました。

(1) 実施内容

いこいの家や住民主体のサロンに出かけ、日常の暮らしぶりをお聴きし、地域で支え合い、たすけ合いを実践している皆さんの活動をまとめました。

(2) 町主催のシンポジウムに生活支援コーディネーターとして参画

～みんなが主役！見つけよう地域のつながり～お宝事例発表会

- ・日 時 2月21日（土） 13:30～15:30
- ・場 所 紫波町情報交流館2階大スタジオ ・参加者 82名
- ・講 師 特定非営利法人 全国コミュニティーライフサポートセンター
地域支え合い推進センター 参事 橋本泰典 氏

4 歳末たすけあい運動

低所得世帯や母子・父子世帯や常時介護を要する方に、義援金を配分しました。

- ・運動実施期間 10月～12月 ・募金実績額 4,589,535円
- ・配 分 額 3,566,000円
- ・配 分 内 訳

区 分		世帯・人員	単 価	金 額
要保護世帯	高齢者・母子等世帯	240世帯	12,000円	2,880,000円
常時介護を要する個人	寝たきり・認知高齢者、重度心身障害者	98人	7,000円	680,000円

5 日常生活自立支援事業の支援

認知症や知的、精神障がい等により日常生活上の判断能力が不十分な方に対し、福祉サービス手続きの援助や代行、日常生活に必要な金銭管理を支援しました。

- ・利用者数 14名（3月末現在）
- ・生活支援員（紫波町担当） 3名（週1～2回訪問）

6 生活福祉資金（県社協委託事業）

相談 40件 うち決定10件

〈決定内訳〉

資金名		件数	貸付総額	貸付限度額
当期決定貸付総額		10 件	2,434,000 円	
内 訳	緊急小口資金	7 件	515,000 円	100,000 円
	福祉資金	1 件	378,000 円	50 万円～580 万円、対象経費による
	総合支援資金	0 件	0 円	単身 15 万円、2 人～20 万円
	つなぎ資金	0 件	0 円	必要最小限
	教育支援資金	2 件	1,541,000 円	

※前年度 4 件 1,974,000 円

(高齢者、障がい者)

7 高齢者ふれあい交流会

65 歳以上の一人暮らし老人及び共に 75 歳以上の二人暮らし世帯を対象に、次の事業を実施しました。

(1) 配食サービス 毎週金曜日に昼食弁当をボランティアが配布しました。

・利用者 32 名 (3 月末現在) ・利用者負担 1 食 300 円
 ・実施回数 51 回 ・配食総数 1,551 食 ・受託料 418,770 円
 ・利用者負担 465,300 円 ・事業費 1,051,447 円 ・事業者支払 855,697 円

8 高齢者安否確認システムの利用推進

【県社協事業】

独居高齢者を対象に、電話による安否確認システムの利用を推進しました。

・利用実績 1 件

9 移送サービス

車椅子利用者等で一般の交通機関の利用が困難である高齢者や障がい者 (町認定者) を対象として、病院や福祉施設等へ移送する有償のサービスを実施しました。

・利用登録者数 40 名 ・利用延べ回数 581 回
 ・運転手 3 名 ・専用車両 3 台

10 地域交流イベント「ふれあいフェスタ 2025」

【継続：共同募金 471,057 円】

障がい者と健常者との相互理解、障がい者に関する正しい知識の普及と啓発、文化活動を通じた交流、障がい者の自立と社会参加の促進を目的に開催しました。

・実施日 9 月 13 日 (土)
 ・場 所 オガールプラザ内「紫波町情報交流館」及びアーケード、芝生広場
 ・展示物 障がいのある方が製作した 48 点の作品、町内福祉団体や事業所の紹介パネル、町内事業所の利用者と紫波総合高校福祉健康系列の生徒との交流体験の紹介
 ・イベント オープニング (紫波第一中学校吹奏楽部、虹の保育園)
 講演 スノーボード トリノオリンピック元日本代表
 成田童夢さんによるトークショー

「みんなで一緒に夢を描く方法」

13 団体によるふれあい屋台コーナーの開催、ニュースポーツ交流、白
杖・車椅子の体験

11 三障がい者スポーツ交流会

障がい者の体力維持や交流を目的に、ニュースポーツを行いました。

・開催日 令和8年1月31日（土） 場所 紫波町総合福祉センター 参加者 25名

12 キャップハンディ体験等福祉出前講座

町内小中学校の福祉学習の際に、職員が車いす、白杖の体験の出前講座を行いました。

・出前講座 車いす・白杖体験 5校 日詰、古館（2）、西の杜
赤石小、紫波二中

高齢者疑似体験 紫波三中

・福祉講座 金濱朋美氏 3回 西の杜、赤石小学校、日詰小学校

13 知的障がい者（児）お楽しみ会事業

知的障がい者（児）の家庭に引きこもりがちになる方の健康増進を図るとともに社会
適応を養い、また保護者の交流の場を設けることによって、障がい者（児）福祉の向上
と啓発を図ることを目的に多人数でのお出かけを実施しました。

・実施日 令和7年9月6日（土） ・実施場所 青森県八戸市

・参加親子 13組

（助成金）

14 地域福祉活動創出応援助成

【継続事業 社協会費 1,716千円】

地域福祉推進事業として、地域課題、困りごとを受け止め、助け合い、支え合える事
業への助成支援を行いました。

・審査会：5月28日（水） ・審査団体数 11団体

・活動報告会：2月17日（火） ・出席団体数：10団体

・助成団体数：10団体（1,716,234円）

15 高齢者サロン「いこいの家」助成事業

町内のひとり暮らし老人や老夫婦世帯の孤独感解消や健康保持を目的に、ボランティア
が実施する高齢者サロン事業「いこいの家」に、補助金を交付しました。

・交付額 1回 3,400円（財源内訳 町 2,400円、社協 1,000円）

・地区別開催状況

日 詰	古 館	水 分	志 和	赤 石
14ヶ所 57回	6ヶ所 33回	7ヶ所 24回	13ヶ所 78回	15ヶ所 30回
彦 部	佐比内	赤 沢	長 岡	合 計
3ヶ所 8回	7ヶ所 15回	8ヶ所 22回	6ヶ所 18回	79ヶ所 285回

16 食とのつながり支援事業助成

【社協会費 500千円】

食支援や学習支援、居場所支援を通じて、地域に密着して行われる多様な生活課題活動を実践する団体へ助成支援を行いました。

・助成団体数：4団体（400,000円）

17 各種福祉団体助成 【775 千円】

（1） 事務を受託している団体（6団体）

民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、身体障がい者福祉協会、
母子寡婦福祉協会、更生保護女性の会、手をつなぐ親の会

（2） 子育て支援 【72 千円】

就学前児童の子育てひろば（子育てサロン）を開催しているボランティアグループ3団体へ活動費の助成を行いました。・活動助成金 3ひろば総額 72,000円

（3） 行政区長協議会、オレンジの会、みすず広場、紫幸会への支援 【240 千円】

18 小地域福祉 除雪事業費助成金交付事業 【173,019 円】

町内4団体に助成金を交付しました。

第6 災害支援等ボランティア事業

1 BCP事業継続計画に基づく取組（資材確保等）

2 災害ボランティアセンター確立（参集訓練等）

（1） 災害ボランティアセンター設置・運営訓練の開催

①日 時：8月7日（土）午前9時30分～12時

②場 所：紫波町総合福祉センター

③参加者：42名

④内 容：座学、ロールプレイ

⑤協 力：県社協、いわて NPO 災害支援ネットワーク（INDS）、古館まちづくりの会、
紫波町、自主防災会

3 配食ボランティア（関連 第5-7-(1)）

65歳以上一人暮らしや、概ね75歳以上の夫婦世帯におかずを届けながら見守りの安否確認も行いながら、年間51回昼食配食のボランティア活動を行いました。

・利用者32名（日詰3、古館2、水分5、志和2、赤石7、佐比内8、長岡5）

・ボランティア登録人数 29名 ※利用者、登録者ともに3月末現在

4 高齢者サロン「いこいの家」ボランティア

各地区の「いこいの家」運営に、ボランティアとして下記の実績がありました。

・世話人延べ人数 1,155名 ・開催回数 320回 ・利用者総数 4,170名

5 ボランティア保険加入状況（合計 2,944名は前年比+814名）

区分	団体加入	個人加入	加入者計
活動保険基本タイプ	19団体 312名	1名	313名
活動保険天災タイプ	1団体 7名	3名	10名

行事保険タイプ	38 団体（実 7 団体） 2, 241 名	0 名	2, 241 名
送迎サービス補償	1 団体 360 名	0 名	360 名
福祉サービス総合保障	1 団体 20 名	0 名	20 名
計	60 団体（実 29 団体） 2, 940 名	7 名	2, 944 名

6 傾聴ボランティア活動支援

7 フードバンクへの協力

町内に設置された食品回収ポストへの協力食材を、これまでに 7 回フードバンク岩手（盛岡市）へ届けました。

第 7 共同募金事業

1 赤い羽根共同募金運動の推進

・運動実施期間 10 月～12 月 ・募金実績額 5, 928, 400 円

2 福祉支援事業助成（1 件 5 万円限度）

・決定団体数 7 団体 ・助成金額 350, 000 円

3 社会福祉協議会が行う事業へ助成

・事業数 5 事業（ふれあいフェスタ、いこいの家、社協だより、障害者団体等活動、子育て支援グループ）
・助成金額 4, 673, 901 円

第 8 職員研修

1 紫波町社会福祉協議会職員研修

（1）実施日時 4 月 11 日（金）18 時 30 分から ・参加者 62 名

・内 容 紫波町地域福祉計画について 鷹觜事務局長
令和 7 年度事業方針について 施設長 2 名、遠藤管理者、渡辺管理者
職員交流戦略委員会の活動について けやき学園 松田支援員

第 9 在宅支援介護

※事業実施報告は、別紙のとおり

第 10 虹の保育園

1 公私連携型保育園「虹の保育園」

※事業実施報告は、別紙のとおり

2 地域子育て支援センター

※事業実施報告は、別紙のとおり

第 11 障害福祉サービス事業所

1 障がい福祉サービス事業所「けやき学園」

※事業実施報告は、別紙のとおり

2 障がい福祉サービス事業所「さくら製作所」

※事業実施報告は、別紙のとおり

令和 7 年度

在宅支援介護 事業報告書

1 介護事業の状況

介護が必要な高齢者及び障がい者が、住み慣れた自宅で安心して暮らせるように、利用者自身が個々に持っている力を引き出し、その力を支え生かしながら各種の支援・介護を行いました。

2 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）

介護保険法に基づき在宅等で生活する要介護認定を受けた方に対し、居宅サービス計画（ケアプラン）の作成、見直し及び介護サービスに係る連絡・調整等を実施しました。

- ・利用者数（3月実績） 115名 要支援 13名含む。（前年度 140名）
- ・介護支援専門員数 5名（前年度 5名）
- ・総収入額 27,359,970円（前年度比 -163,297円）

3 訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）

介護保険法における要介護認定（1～5）、要支援認定（1・2）を受けた方に対し、身体介護や生活援助の訪問介護サービスを提供しました。

・訪問介護利用実績 (単位：人、回、時間、千円)

年 度 区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実利用者数	事業対象者	1	0	0	0	0	0
	要支援 1	1	1	1	1	0	3
	要支援 2	12	8	9	6	6	7
	要介護 1	28	32	28	18	21	30
	要介護 2	21	21	18	20	18	18
	要介護 3	12	12	14	15	11	9
	要介護 4	6	5	6	1	1	2
	要介護 5	2	4	2	2	2	3
	計	83	83	78	63	59	72
派遣回数	身体介護	6,669	5,984	5,568	4,711	4,666	4,895
	生活援助	1,169	868	512	499	362	412
	身体・生活	2,485	2,231	2,219	2,260	1,820	2,079
	介護予防	0	0	0	0	0	0
	現行相当	739	534	463	441	380	462
	計	11,062	9,617	8,762	7,861	7,228	7,848
年 度 区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
派遣時間	身体介護	4,914	4,103	3,881	3,149	3,124	3,276
	生活援助	1,191	908	533	405	304	362
	身体・生活	3,332	2,069	2,054	2,985	2,429	2,776

	介護予防	0	0	0	0	0	0
	現行相当	554	518	362	344	300	350
	計	9,991	7,598	6,830	6,883	6,157	6,764
収入額 (介護報酬)		41,463	35,322	32,947	29,721	27,026	28,773

・総収入額 28,859,139 円 (前年度比 +1,832,464 円)

4 障害者居宅介護事業 (ヘルパー派遣)

障害者総合支援法における居宅介護サービスを提供しました。

・利用実績 (単位：人、回、時間、千円)

年度 区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
派遣対象者数	19	16	16	18	13	12
派遣回数	2,658	2,112	2,139	2,044	2,264	2,597
派遣時間	2,069	1,511	1,569	1,606	1,738	1,993
自立支援費収入	7,236	5,004	5,135	4,777	5,587	7,088

・総収入額 7,762,590 円 (前年度比 +2,174,760 円)

5 障害者外出介助事業 (ガイドヘルパー派遣)

【継続事業 町委託】

町から認定を受けた視覚障がい者を対象として、ガイドヘルパーを派遣し、外出介助を実施しました。

- ・利用者数 5 名 (前年度 5 名)
- ・派遣回数 248 回 (前年度 232 回)
- ・派遣時間 427 時間 (前年度 386 時間)
- ・総収入額 634,750 円 (前年度比 +86,900 円)

6 基準緩和訪問型サービス (ホームヘルパー派遣)

【継続事業 町委託】

介護保険法における要支援認定者とそれに準じた高齢者 (町認定者) に対し、生活支援ヘルパーを派遣し、掃除、洗濯等の生活援助サービスを提供しました。

・利用実績 (単位：人、回、時間)

年度 区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
派遣対象	25	21	25	18	20	19
派遣回数	1,377	1,172	1,217	1,111	996	989
派遣時間	1,047	879	913	833	719	742

・総収入額 1,732,403 円 (前年比-54,393 円) 派遣対象者は年度末の実績

7 緩和型訪問かいご者養成研修

【継続事業 町委託】

学んで実践!! 介護講座

- ・日 時 12 月 3 日 (水)
- ・会 場 紫波町情報交流館
- ・主 催 紫波町
- ・受講者 5 名
- ・内 容 コミュニケーション技術、事故防止・緊急対応、生活支援技術

講師は紫波町職員、町内の介護サービス事業所。社協からは訪問介護員 2 名で対応しました。(受講者から雇用候補者名簿へ 2 名登録。期間は 1 年)

8 元気はつらつサロン「ふれ愛交流館」 【継続事業 町委託】

介護保険法における要支援認定者とそれに準じた高齢者（町認定者）を対象に社会参加と生活機能の維持向上を目的に実施しました。

- ・開設日数 151 日（水曜日～金曜日）（前年度 148 日）
- ・開設場所 町総合福祉センター
- ・登録者数 22 名 ※ 3 月末現在（前年度 22 名）
- ・延べ利用者数 998 名（前年度比 -9 名）
- ・実施内容 健康管理、創作活動、給食、季節行事他
- ・総収入額 4,471,040 円（前年度比 -39,820 円）

[illegible][illegible]

令和7年度も、子どもたちの明るい表情や楽しそうな声、園庭を駆け回る元気な姿、そして、保護者の方の理解と協力、地域の皆様の温かい声は、保育園にとって何よりもの支えとなりました。

1 保育業務実施状況

(1) 児童数

()内は令和6年度児童数

令和8年3月現在

2 保育内容

① “遊ぶ力”の獲得を目指す取り組みを実施

- ②人として生きる力の基礎を培う取り組みを実施
- ③集団の中で個々が育ち合う取り組みを実施
- ④絵本による豊かな心情作りを実施
- ⑤畑での野菜の栽培を実施
- ⑥稲作体験・味噌作り体験の実施

3 特別保育実施状況

(1) 延長保育

在園児を対象に月曜日から土曜日まで開設時間を延長し、保育を実施しました。

- ・時 間 午後6時～7時
- ・利用者 日単位利用延べ人数 375名（前年度比-191名）
月単位利用延べ人数 498名（前年度比 -68名）

(2) 一時保育

満1歳以上の町内在住幼児を対象に、月曜日から土曜日まで時間単位での預かり保育を実施しました。

- ・時 間 午前8時～午後6時
- ・利用者 76名（前年度比+14名）

(3) 休日保育

満1歳以上の在園児を対象に日曜日、祝日、年末に保育を実施しました。

- ・時 間 午前8時30分～午後5時
- ・利用者 3名（前年度比-4名）

4 防災訓練実施状況

災害発生時に備え、職員、在園児、保護者、子育て支援センター利用者、一時保育利用児の全員を対象に訓練を実施し、災害時の対応について啓発活動を行いました。

- ・定期訓練 毎月1回（消防署指導、地震、水害、火災、不審者訓練、引き渡し訓練、熊対策）
- ・土曜日訓練 年3回（6月7日、14日、21日）
- ・定期救命講習の受講（日本赤十字社岩手県支部）

5 給食実施状況

(1) 給食実施結果

厚生労働省が示す食事摂取基準に基づき乳幼児にとって適切な給与栄養量を確保できるよう、子どもの発育、発達状況、家庭環境、栄養状態を考慮しながら年間の食育計画を立案しました。また0歳児については、入園時点での月齢を基準とし、家庭と連絡を取りながら個々の成長に合わせた離乳食を進めました。

(2) 食育啓発活動

- ①献立表の配布の実施
- ②給食サンプルの展示
- ③誕生会昼食会の実施
- ④食事マナーの習得

- ⑤地産地消の推進
- ⑥調理の取り組み
- ⑦アレルギー除去食の提供
- ⑧歯科指導の実施

(3) 衛生管理

- ①給食安全管理に基づいた安全な調理の実施
- ②職員細菌検査の実施
4月（全職員）毎月（給食従事者、0歳児担任）ノロウイルス（給食従事者）
- ③感染症対策の実施
全園児、全職員、自宅での検温、体調観察、保育室内の消毒を行いました。
- ④健康に関する情報（保健だより）の発行を行いました。

6 保護者との連携

(1) 父母の会

園行事の開催について、父母の会会長と相談し、各行事を実施しました。

(2) 保護者

個別面談を実施し、お子さんの保育園での様子や家庭での様子、心配事や保育園への希望などいつもの送迎では中々できない話をする機会を作りました。

7 地域交流

(1) 異世代間交流

虹の保育園地域子育て支援センター高齢者クラブ（そよかぜクラブ）と2，3歳児で伝統行事（小正月）を行いました。

(2) 関係団体との交流

- ①近隣地区老人クラブさんに園舎中庭や野菜畑の整備を行っていただきました。
- ②志和公民館にて、地域の方々と伝統行事（小正月）に参加しました。

(3) 普及、啓発活動

- ①園行事の様子を社協広報に掲載しました。
- ②保育の様子、行事等を園だよりで伝えました。
- ③保育の様子（ドキュメンテーション）を掲示し、保育の様子を伝える試みを行いました。

9 卒園児就学予定小学校との連携

- ① 児童の就学予定校との申し送りを行いました。（町内小学校4校、県外小学校1校）
- ② 保育所児童保育要録（平成29年全部改正、平成30年4月施行保育所指針に則る）を児童の就学校へ送付しました。

10 諸会議の開催及び参加

(1) 職員会議

- ①職員全体会議（毎月1回）
- ②給食担当者会議、乳児部、幼児部リーダー会議

- ③乳幼児部連絡会議の開催（隔週）
- （２） 関係機関の会議への参加
 - ①紫波町福祉相談窓口連携会議
 - ②紫波町幼児教育連絡会
- 11 実習生、職場体験学習、ボランティアの受け入れ
 - 保育実習生 2校 3名
 - 職場体験学習 3校 13名
 - ボランティア 1名
- 12 職員研修の実施
 - （１） 園内研修の実施（職員全体研修）年４回
 - ①保育の中の危機管理について・「10の姿」を捉え、保育の質を高める
 - ②防犯について、警察署の方の講演を聞き、知識を深める
 - ②誤嚥事故の事例を観て、保育の振り返りをする
 - ④ヨガ講座
 - （２） その他外部研修
 - ①初任主任保育士研修
 - ②初任保育所長等研修
 - ②幼保小連絡会
 - ③社会福祉従事者新任職員研修会
 - ④紫波ブロック施設長研修
 - ⑤保育のつどい
 - ⑥岩手県甲種防火管理新規講習
 - ⑦保育士キャリアアップ研修の受講
 - ⑧紫波町公立保育部会研修会
- 13 苦情・相談の受付
 - （１） 苦情…０件
 - （２） 相談…育児相談４件
- 14 事故・ヒヤリハット・救急搬送報告
 - （１） 事故…９件
 - （２） ヒヤリハット報告…14件

令和7年度

子育て支援センター 事業報告書

1 子育て親子の交流の提供と交流の促進

就学前の在宅の親子を対象に、子育て不安の解消や保護者同士の交流の場を提供しました。

(1) 赤ちゃん広場

- ・実施日 毎週火曜日 9:30～12:00
第2、4木曜日 9:30～12:00
- ・対象 1歳未満の乳児と保護者
- ・延参加者数 子ども423名（前年度比+289名）、保護者430名（前年度比+285名）
- ・内容 親子でゆっくりと過ごすことを中心に母親同士の交流の場を図る。
保育士による手あそび、親子のスキンシップ、触れ合い遊び
絵本の読み聞かせ、簡単な製作活動の実施

(2) キッズガーデン

- ・実施日 毎月第4月曜日 10:00～12:00
- ・対象 0歳から就園前の乳幼児と保護者
- ・延参加者数 子ども48名（前年度比+9名）、保護者51名（前年度比+21名）
- ・内容 保育士とともに親子で園庭や室内での製作遊び

(3) 親子の広場

- ・実施日 毎週 月曜～金曜日 10:00～12:00
月曜～金曜日 13:00～17:00
毎週 土曜日 10:00～15:00
- ・対象 0歳から就学前の乳幼児と保護者
- ・延参加者数 子ども293名（前年度比+24名）、保護者287名（前年度比+61名）
- ・内容 親子でゆっくりとあそぶことができ、時間内であれば自由に立ち寄れる場所として開放しました。

2 子育て等に関する相談・援助の実施

- ・実施日 毎週月～金曜日 9:00～17:00
毎週土曜日 9:00～15:00
- ・対象 子育て中の親またはその関係者
- ・内容 来園による相談
- ・相談実績 1件

3 地域の子育て関連情報の提供

子育て中の親子が必要とする身近な地域の子育てについて様々な情報を提供しました。

- ・しわっせ、子育て支援ひろば、保健センター間との情報の交換・連絡・共有を行い
広場開設時に利用者に提供しました。

- ・研修・経験などで得られた専門知識を広場開設時に提供しました。
- ・センター通信を発行しました（センター予定表・子育て情報・食育情報を各1回／月）。
地域の方々にもセンターの情報を知っていただくためにセンター予定表を配布しました。（志和公民館、水分公民館、社会福祉協議会等）

4 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

- ・離乳食講座、子育てサロン（助産師育児相談）、ハンドマッサージ体験、ヨガ体験

5 地域支援活動の実施

子育て支援ひろば（地域のボランティアグループ「にこにこひろば」と合同）

- ・実施回 11回／年
- ・対象 0歳から就園前の子どもとその保護者
- ・内容 「にこにこひろば」へ出向き、親子に遊びや絵本の読み聞かせを提供
活動内容により、参加者の子どもの託児

6 世代間交流

（1）高齢者ボランティア講座［そよかぜクラブ］の開催

支援センターを拠点とし、地域の高齢者と広場参加者、在園児との交流を実施しました。

- ・実施日 毎週金曜日 9：30～12：00
- ・対象者 保育園近隣在住の高齢者
- ・内容 乳児用エプロン作り、運動会のメダル作り、卒園児へのコサージュ作り、在園児との行事参加や交流（みずき団子づくり）
- ・登録者数 7名

（2）卒園児との交流（ホームカミングデー）

卒園後の子どもたちの見守りの試みとして計画をたて、実施しました。

- ・実施日 令和8年1月9日（金）
- ・内容 保育園で卒園児自身が作った味噌の配布
- ・参加者数 子ども26名

令和 7 年度

けやき学園 事業報告書

障がいのある方への生産活動の場の提供と生活介護事業を実施し、利用者個々の能力を引き出すことを目標に、利用者お一人おひとりの特性と適性に応じて次のような事業を実施しました。

1 事業所運営に関すること

(1) 利用登録者数について

- ・利用定員 40 名（就労継続支援 B 型事業 34 名、生活介護事業 6 名）
- ・当期末登録者数 39 名（B 型 32 名、生活介護 7 名。男性 21 名、女性 18 名）
（紫波町 35 名、花巻市 4 名）
- ・平均年齢 43 歳（男性 43.4 歳、女性 42.6 歳）

(2) 開所日数

- ・年間開所日数 238 日（前年度比-1 日）

(3) 利用者数

- ・年間延べ利用者数 8,046 名（前年度比-283 名）
- ・1 日の平均利用者数 33.5 名（前年度比-1.4 名）

(4) 運営費（自立支援給付費）収入 80,198,970 円（前年度比-2,086,595 円）

2 利用者支援に関すること

(1) 生産活動

- ・利用者個々の適正に対応した作業提供と、工賃増額を目指した取り組みに努めました。

作業科目	総売上高	作業内容 及び 今期の実績
印 刷 科	3,967,419 円	手拭い、タオル、Tシャツ、ジャンパー等の印刷 ※リピーターの定期的な注文により途切れなく受注有りました。 （前年度比-529,080 円）
障子襖科	2,275,300 円	障子、ふすま及び網戸の張り替え ※「しわの福祉」表紙掲載により、受注増につながりました。 （前年度比+219,560 円）
受 託 科	1,193,108 円	調味料容器のキャップ締め、菓子袋のシール貼り、廃プラスチック分別、ペットボトルキャップリサイクル、花植えプランター他 ※部品事業者の廃業、ペットボトルキャップ事業の見直しをし、 収益率の高い廃棄プラスチック分別作業の強化を図りました。 （前年度比-331,162 円）
計	7,435,827 円	（前年度比-640,682 円）

(2) 利用者への工賃支給について

- ・年間工賃支給総額 5,324,130 円（前年度比-36,271 円）
- ・一人当たり月平均支給額 16,041 円（前年度比 +529 円）
- (3) 生活介護事業について
 - ・ウォーキングや季節に応じた創作活動を中心に意欲的に活動を実施しました。
 - ・ご家庭と連絡帳等にて密に連携し、心身の状態に応じた対応を実施しました。
- (4) 給食提供と健康支援について
 - ・毎月の体重測定・嗜好調査を基に健康支援と昼食メニュー（利用者希望メニューや郷土料理など）に反映させました。
 - ・体調と病状に合わせた食事提供を行い、食事介助を要する方への個別対応や誤嚥防止対策、感染防止対策を継続しました。
 - ・嘱託医による健康診断の実施と、家庭対応が難しい方の通院付添を行う等、病状把握に努めました。
- (5) 行事、クラブ活動等について
 - ・小グループにて、社会体験活動（電車とバス利用、公共機関の見学等）を行い、個々の見聞を広め、日頃のリフレッシュを図る活動を行いました。
 - ・希望者にはクラブ活動（軽運動と音楽）を計画実施し、心身の健康維持を図りました。
- (6) 各種委員会と関連会議の開催について
 - ・基幹相談支援センター「しんせい」講師による事例検討会を行いました。
 - ・虐待防止委員会並びに身体拘束適正化委員会研修(年1回)、事業継続計画(BCP、災害及び感染症)の研修と訓練(各年1回)、感染症対策委員会(3か月に1回)の実施

3 その他の事業・活動について

- (1) 実習及び利用受け入れ
 - ・利用者実習及び新規利用の受け入れ 2名（内1名、利用登録）
 - ・特別支援学校生徒実習受け入れ 3名 3校
 - ・授業実習6名 4校（高校、専門学校、大学）

令和 7 年度

さくら製作所 事業報告書

障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会・生産活動その他活動の機会を提供し、知識及び能力の向上に必要な訓練等を適切かつ効果的に行うことを目的に、各種事業を実施した。

1 事業所運営に関すること

- (1) 利用登録者数について 定員 20 名
- ①当期末 登録者数 17 名（男性 4 名、女性 13 名）
（紫波町 13 名、矢巾町 3 名、花巻市 1 名）
- ・平均年齢 49.7 歳（男性 57 歳、女性 42.5 歳）
- (2) 事業所開設日数
- ①年間延べ開所日数 239 日（前年度比 0 日）
- (3) 利用者数
- ①年間延べ利用者数 3,086 名（前年度比-576 名）
- ②1 日の平均利用者数 12.9 名（前年度比-2.5 名）
- (4) 運営費（自立支援給付費）収入 26,748,750 円（前年度比-5,243,180 円）

2 利用者支援に関すること

- (1) 生産活動において、個々の能力に応じた適性作業の提供と工賃増額に努めました。

区 分	総売上高	作 業 内 容
受注作業部	1,818,877 円	返礼品箱詰め作業、調味料のミニボトルのキャップ、フルーツキャップ他（前年度比-339,478 円）
就労促進部	2,299,330 円	ゆうメール便の配達 （前年度比+34,210 円）
計	4,118,207 円	（前年度比-305,268 円）

- (2) 利用者工賃支給について
- ・年間工賃支給総額 3,414,240 円（前年度比-273,555 円）
- ・一人当たり月平均支給額 22,035 円（前年度比 +2,080 円）
- (3) 行事・余暇活動
- ①行事 2 回
- ・日帰り旅行（雫石方面）・ボウリング交流会を実施した。
- ②施設内行事 5 回
- ・季節行事（花見会・そば打ち・クリスマス会・成人を祝う会・カラオケ交流会等）として食事会を実施した。

3 その他の事業・活動について

- (1) 事業所利用体験実習、視察、学生体験実習等の受入
- ①年間事業所見学者数（当事者他） 12 名
- ②年間事業所施設体験・実習者数（当事者） 4 名